

SCBSHINKIN
CENTRAL
BANK**産業企業情報****2023-2****(2023. 4. 28)****信金中央金庫****SCB 地域・中小企業研究所**〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7
TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048
URL <https://www.scbri.jp>**コロナ禍からの回復のなかで仕入困難や人手不足に悩まされる中小企業
—全国中小企業景気動向調査（2023年1-3月期）コメントより—****視 点**

本稿では、信金中央金庫が全国の信用金庫の協力を得て取りまとめている全国中小企業景気動向調査（調査期間：2023年3月1日～7日）において、信用金庫調査員が全国の中小企業から聴取したコメントをもとに、中小企業の経営の状況についてまとめる。

コロナ禍からの回復といった明るい声がある一方で、仕入価格の上昇を訴える声や、人手不足に悩んでいるとの声が前回に引き続いてみられる。仕入価格上昇に対する価格転嫁の状況については、できている企業とできていない企業でまちまちであった。また、新商品開発の実施など、前向きな声も聞かれた。

要 旨

- 2023年3月の業況は、4四半期ぶりの低下となった。ただし、新型コロナウイルス感染拡大直後と比較すると水準が高いこと、加えて2023年6月見通しは改善を見込んでいることから、業況が低下傾向に転じているとまでは言えない。
- コロナ禍が落ち着いてきたことを受け、業況が回復基調に転じたとするコメントが多くみられた。また、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類の5類への移行が5月に予定されていることを踏まえ、さらなる業況回復を見込む声がある。
- コロナ禍や鳥インフルエンザ等に伴い、各種の調達に困難が生じているとのコメントもみられた。また、原材料価格高騰や電気代引上げ等が経営を圧迫しているとの声は相変わらず多い。価格転嫁については、できているという声、できていないという声がまちまちであった。
- 人手不足が事業継続に悪影響をおよぼしているとのコメントもみられた。一方で、人手不足を受けて生産性向上などを進めるとの声も聞かれた。
- デジタル化については、積極的な声も聞かれる一方で、経営者や従業員、取引先の高齢化が足かせとなり、デジタル化に消極的な声も目立った。
- 新事業展開や新商品・サービスの開発など新しい取組みを行ったり、ネット販売やSNSによって需要を獲得しているとのコメントもみられた。

キーワード

全国中小企業景気動向調査 中小企業経営者 コロナ禍からの回復 仕入価格上昇 価格転嫁 人手不足 新事業展開

目次

はじめに

1. 2023年3月調査における主要判断項目の概観
2. 調査員のコメントから
 - (1) コロナ禍からの回復
 - (2) 仕入の困難、仕入値・経費の上昇
 - (3) 価格転嫁
 - (4) 人手不足
 - (5) デジタル化
 - (6) 前向きな取組み

おわりに

はじめに

信金中央金庫では、全国の信用金庫の協力を得て、四半期ごとに「全国中小企業景気動向調査」を取りまとめている。

本調査の特徴の1つに、実際に中小企業から聞き取りをしている信用金庫職員の視点からその企業を分析した「調査員のコメント」欄の存在がある(図表1)。コメント欄には、その企業の状況について、定型的な質問への解答からだけではわからない実態が細かく記述されており、中小企業の現状を探るうえで有用な情報源となっている。

(図表1) 全国中小企業景気動向調査の調査表(左下、破線の円部分が「調査員のコメント」)

特別調査 「中小企業におけるデジタル化への対応について」

問1. 2023年10月に開始予定の「インボイス制度(簡易請求書保存方式)」へ向けて、インボイス(簡易請求書)発行事業者への登録申請を前もって行っていますが、貴社ではどのように対応していますか。現在、消費税を納付している「課税事業者」の方は1~3から、消費税の納税免除を受けている「免税事業者」の方は4~8から、それぞれ最もあてはまるものを1つ、選んでお答えください。

課税事業者 1. 既に登録申請を行った
2. まだ登録申請をしていない
3. 「インボイス制度」自体がわからない

免税事業者 4. 既に登録申請を行った
5. 登録申請を行う予定
6. 登録申請は行わない予定(免税事業者のまま)
7. まだ対応方針は決めていない
8. 「インボイス制度」自体がわからない

問2. 電子帳簿保存法(電帳法)が改正され、請求書などに関する電子データを送付・受領した場合は、その電子データを一定の要件を満たした形で保存することが必要となりました。この改正について、貴社の認知度を1~4から、対応を5~9から、それぞれ1つお答えください。

認知度 1. 内容までよく知っている
2. 意味はある程度わかる
3. 名前しか知らない
4. 聞いたことがない

対応 5. 対応できている
6. 一部対応できている
7. 対応できていない
8. 電子データの授受をしておらず、当社には関係ない
9. よくわからない

問3. 貴社では、企業間での資金決済の際、手形をどの程度利用していますか。また、でんさい(電子記録債権)をどの程度利用していますか。手形については1~5から、でんさいについては6~9から、それぞれ1つお答えください。

手形 1. 取引の50%以上
2. 取引の30%以上~50%未満
3. 取引の10%以上~30%未満
4. 取引の10%未満
5. 全く使っていない

でんさい 6. 取引の50%以上
7. 取引の30%以上~50%未満
8. 取引の10%以上~30%未満
9. 取引の10%未満
0. 全く使っていない

問4. 貴社では、これまで行ってきたデジタル化投資(コンピュータ、ネットワーク関連機器・ソフトウェアの購入、利用環境の整備等)の費用対効果について、どのように感じていますか。1~5から1つお答えください。また、今後のデジタル化投資の計画について、6~9から1つお答えください。

デジタル化投資の満足度 1. 大いに満足している
2. やや満足している
3. あまり満足していない
4. まったく満足していない
5. もっともデジタル化投資を実施していない

今後のデジタル化投資の計画 6. 拡充する予定
7. 活用方法に関する知識の不足
8. 経営者・社員が必要と感じていない
9. その他()

問5. 貴社では、デジタル化を進めるに際しての問題点・課題として、どのようなものが考えられますか。次の1~9の中から最大で3つまでお答えください。

1. 費用対効果の把握が困難
2. 技術水準が追いつきで対応しきれない
3. セキュリティの確保への不安
4. トラブル発生時の対応が困難
5. 働き方改革による人材不足
6. 情報分野に欠けた社員の不足
7. 活用方法に関する知識の不足
8. 経営者・社員が必要と感じていない
9. その他()

調査員のコメント

お忙しい中にもかかわらずご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

第191回全国中小企業景気動向調査表(製造業)

2023年1~3月期

信用金庫

<番号記入要領>

金庫コード …… 手形交換に使用する統一金庫コードを記入してください。
 地域番号 …… 下記地域番号表を参照して、調査企業の所在地に該当する番号を記入してください。
 業種番号 …… 下記業種番号表を参照して、該当する番号を記入してください。
 従業員数 …… 雇用者、家族従業員を含み、パートを除く従業員数を「0」「0」「5人」のように記入してください。
 また、パート・アルバイト数につきましては、調査時点における人数を記入してください。

※あてはまらない項目や不明な項目についての番号欄は、空白のままご解答ください。

(地域番号表)

(01) 北海道	(13) 東 京	(25) 滋 賀	(37) 愛 媛
(02) 青 森	(14) 神 奈 川	(26) 京 都	(38) 徳 島
(03) 岩 手	(15) 新 潟	(27) 大 阪	(39) 高 知
(04) 宮 城	(16) 山 梨	(28) 兵 庫	(40) 福 岡
(05) 秋 田	(17) 茨 野	(29) 香 川	(41) 佐 賀
(06) 山 形	(18) 富 山	(30) 和 歌 山	(42) 長 崎
(07) 福 島	(19) 石 川	(31) 鳥 取	(43) 熊 本
(08) 茨 城	(20) 福 井	(32) 島 根	(44) 大 分
(09) 栃 木	(21) 岐 阜	(33) 岡 山	(45) 宮 崎
(10) 群 馬	(22) 静 岡	(34) 広 島	(46) 鹿 児 島
(11) 埼 玉	(23) 愛 知	(35) 山 口	(47) 沖 縄
(12) 千 葉	(24) 三 重	(36) 香 川	

(業種番号表)

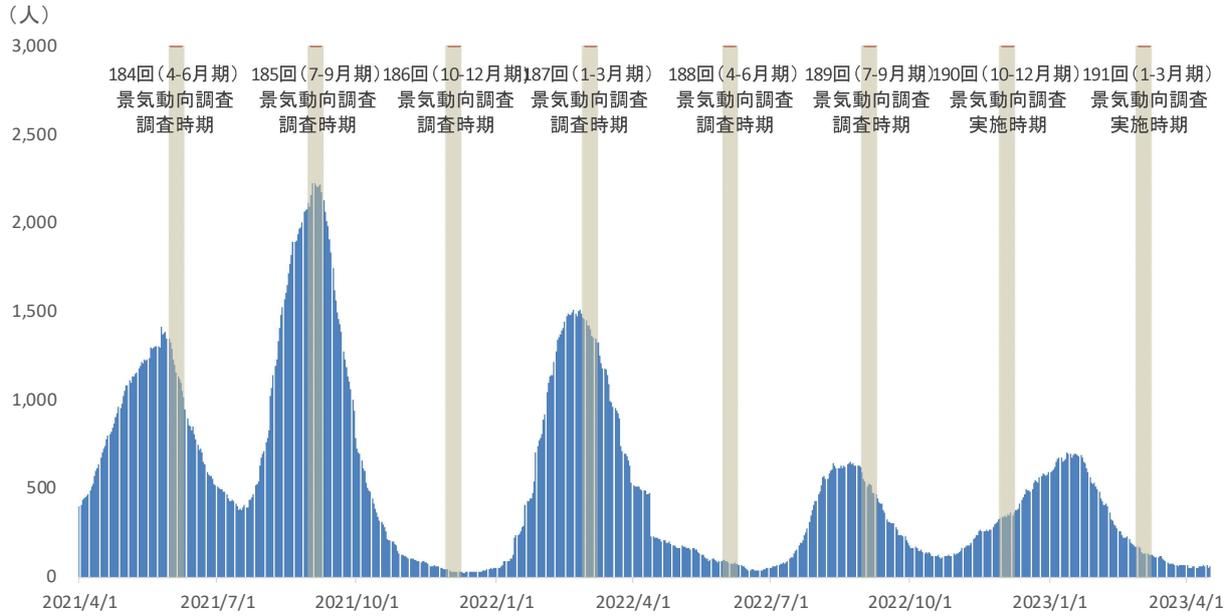
(11) 食料品製造業	(19) ゴム製品製造業	(27) 彫刻業、熱処理業
(12) 繊維工業(衣服、その他の繊維製品を除く)	(20) なめしかわ、同製品・毛皮製造業	(28) 一般機械器具製造業
(13) 衣服・その他の繊維製品製造業	(21) 陶業、土石製品製造業	(29) 精密機械器具製造業
(14) 木材・木製品製造業(家具を除く)	(22) 鉄鋼業	(30) 精密機械器具製造業
(15) 家具・装飾品製造業	(23) 非鉄金属製造業	(31) 貴金属製品製造業
(16) パルプ・紙・紙加工品製造業	(24) 金属製品製造業(25・26を除く)	(32) 家具・車載機器用具製造業
(17) 出版・印刷・同関連産業	(25) 建設用・建設用金属製品製造業(鉄から鋼金庫を含む)	(33) 鉄骨具・装飾品・ポタン同
	(26) 化学工業	(34) プラスチック製品製造業
		(35) その他の製造業

(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

そこで本稿では、2023年3月調査の結果を振り返るとともに、「調査員のコメント」欄をまとめることで、中小企業の経営環境を概観する。

なお、第191回調査の調査期間は2023年3月1日～7日である。この時期においては、新型コロナウイルスによる重症者数は低水準で推移していた（図表2）。

（図表2）国内の新型コロナウイルスによる重症者数の推移



（備考）厚生労働省資料等より信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

1. 2023年3月調査における主要判断項目の概観

2023年3月の主要な判断項目を概観する。

業況判断D. I. は、前期比で3.1ポイント低下し、△13.9となった（図表3左上）。四半期ぶりの低下とはなったものの、新型コロナウイルス感染拡大直後と比較すると、水準自体は高い。また、2023年6月見通しは△11.7と、2.2ポイントの改善を見込んでいる。これらのことから、業況が低下傾向に転じているとまでは言えないと判断することができよう。

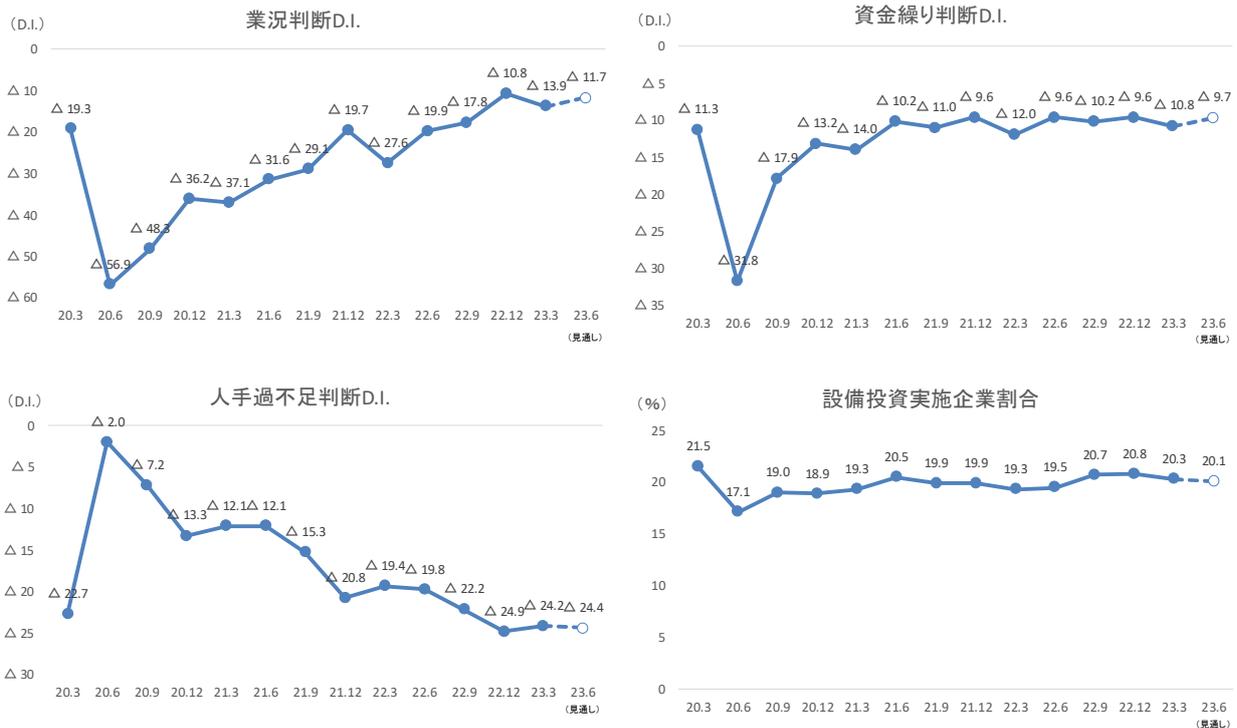
資金繰り判断D. I. は、前期比で1.2ポイント低下し、△10.8となった（図表3右上）。経済活動が大きく抑制されたことを反映し2020年6月（△31.8）に大きく落ち込んだものの、その後は急速に回復している。2023年6月見通しも△9.7と若干の改善見通しとなっている。これらのことから、資金繰りは安定して推移しているといえよう。ただし、今後、実質無利子・無担保融資の返済が本格化する予定であるため、資金繰りの状況には注視が必要である。

人手過不足判断D. I. は、前期比でマイナス幅が0.7ポイント縮小（人手不足感が弱まる）し、△24.2となった。マイナス幅はコロナ前の水準（2019年は、△27～△29程度で推移）に徐々に近づいており、深刻な状況が続いている（図表3左下）。特に建設業や

サービス業において人手不足感が強い。

設備投資実施企業割合は、前期比で0.5ポイント低下し、20.3%となった。新型コロナウイルス感染拡大で落ち込んだ後、ゆっくりと改善傾向にあったものの、直近では改善に一服感がある（図表3右下）。全体としては、業況や資金繰りは安定しているものの、人手不足の深刻さが際立っているといえよう。

（図表3）全国中小企業景気動向調査における主要指標の推移



（備考）信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 調査員のコメントから

今回も、信用金庫調査員を通じて、全国の中小企業・小規模事業者から多数のコメントが寄せられている。本稿では、これらのコメントを「コロナ禍からの回復」「仕入の困難、仕入値・経費の上昇」「価格転嫁」「人手不足」「デジタル化」「前向きな取り組み」の6つに分け、動向をまとめる。

（1）コロナ禍からの回復

今回の特徴として、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたことを受けて、業況が回復基調に転じたと指摘するコメントが多くみられたことが挙げられる（図表4）一方で、コロナ禍の影響はまだ完全には収まっておらず、業況がいまだに厳しいとの声（図表5）も聞かれている。

また、5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行される

ことが調査実施当時に予定されていたため（4月27日に正式決定）、さらなる業況回復を期待するコメントもみられる（図表6）。コロナ禍からの制限の緩和が期待通り企業の業況の回復につながるかが今後注目されよう。

（図表4）コロナ禍からの回復がみられるとするコメント

コメント	業種	都道府県
外国人観光客が増加していることから、ほぼ満室稼働になった。	旅館	北海道
新型コロナが落ち着いたことで、遠方からの客足もある。1人で3個の眼鏡を購入するなど、コロナ禍で視力低下を我慢していた顧客が店に来ている。	時計、眼鏡小売	岩手県
宿泊客は順調に増加しているものの、仕入や光熱費の高騰により収益は減少している。ツアー客の問い合わせも来ており、今後は好調に推移すると思われる。	ホテル	岩手県
デパートやテーマパーク、複合施設の集客数が回復しており、売上が増加している。	茶小売	埼玉県
観光客の増加に伴い飲食店への販売数が増加した。	食料品卸売	東京都
イベントの規制が解除になり受注が増えつつある。今年は売上が回復するように営業活動に力を入れていく。	ポスター等製作	東京都
コロナも収束の様子を見せはじめ業況も安定してきた。今後は管理物件の数を増やして売上増加を図りたい。	不動産仲介	東京都
東南アジアからのエビ輸入は回復傾向にある。売上は増加しているものの、仕入値や光熱費高騰が収益を圧迫している。	水産加工卸	愛知県
テナント入居しているショッピングセンター全体の集客が回復しており、売上が増加している。	婦人衣料小売	三重県
コロナ規制の緩和の影響もあり、昨年同時期と比較して売上、収益とも増加傾向にある。	酒類卸	広島県

（備考）第191回全国中小企業景気動向調査および東京都信用金庫協会資料より信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成（以下同じ）

（図表5）コロナ禍の影響がまだ完全には収まっていないとするコメント

コメント	業種	都道府県
徐々に仕事が増えているが、コロナ前までは回復していない。マスク解除などに期待している。	各種パーティの司会	北海道
コロナの影響がまだ収まっていないうえ、電気代値上げが非常に痛い。	テナント賃貸、駐車場	宮城県
ほとんどの部品が海外製品であるため、輸入の遅れが改善されず苦慮している。	管工材卸	東京都
コロナの影響が最近になって出始め、客数が減少している。	介護、鍼灸	神奈川県
アパレル業界のコロナからの回復は遅れている。同業他社の廃業により、売上は増加に転じている。	プラスチック製包装販売	岐阜県
売上がコロナ禍前まで戻るメドが立っていないことから、経費削減や取引先開拓に注力する。	職別工事	兵庫県
家族連れは増えているが、サラリーマンはまだ戻っていない。	飲食業	岡山県
コロナを受け、防水工事等を見合わせている企業が多く、減収となっている。	防水工事	香川県

(図表 6) 新型コロナウイルス感染症の5類移行に期待するとするコメント

コメント	業種	都道府県
全国旅行支援を受け、法人向け、個人向けとも販売が増加。コロナの5類移行による人流の増加に期待。	ガソリン、灯油小売	北海道
コロナの5類化によるイベントの活性化に期待しているが、仕入価格の高騰については懸念している。	ファッション ジュエリー卸	千葉県
取引先がコロナ禍の制限緩和を受けて客足が戻ってきている。5類への引下げ後に期待している。	酒類卸	静岡県
コロナの5類化に期待している。団体客が増えてくれば売上増加が見込まれる。	日本料理店	岐阜県
為替レートの変動もあり、先行きは不透明。コロナの5類移行により、止まっていた航空機バルブの受注回復が期待できる。	バルブ類製造	滋賀県
全国旅行支援により増収増益。今後はコロナの5類引下げにより、コロナ前まで業績が戻ると期待している。	ホテル、旅館	兵庫県
コロナが5類に指定されれば、利用客が戻ると見込んでいる。	デイサービス	兵庫県
コロナが5類になれば、イベントが増え、売上が増えると期待している。	食器小売	岡山県

(2) 仕入の困難、仕入値・経費の上昇

コロナ禍に伴う各種部品等の調達不足や、鳥インフルエンザに伴う鶏肉や卵の品薄に悩んでいるとの声が聞かれる(図表7)。なかには、「一部で、部品の買占めの動きがある。(機械工具、電子部品販売 岡山県)」や「原材料価格高騰に備え、大量に在庫を抱えている。(段ボール箱製造 岡山県)」のように、一部の企業の行動を受けて品薄感がさらに増幅している恐れがあるとのコメントも散見される。

また、原材料価格高騰に加え、電気代引上げなど、仕入値および経費の上昇が経営を圧迫しているとの声は、前回や前々回に引き続いて多く聞かれた(図表8)。なかには、「原油高や電気料金高騰を受け、資金繰りが厳しい状況が続いている。(乳製品製造 秋田県)」や「コロナ禍の影響で歯科医への来院数が伸び悩んでいるうえ、ウクライナ情勢を受け材料費が高騰しており、資金繰りに影響している。(歯科技工業 千葉県)」、「原材料価格高騰により資金繰りが悪化し、経費削減に追われていることから、デジタル投資ができていない。(衣料品製造 宮崎県)」のように、仕入値および経費の上昇が資金繰りにまで悪影響を及ぼしているとの声も聞かれる。

(図表 7) 仕入に困難が生じているとのコメント

コメント	業種	都道府県
電気料金値上げを受け粗利が圧迫されている。また、部材不足を受け、棚卸資産が増加している。	医療機器、情報機器製造	岩手県
鳥インフルエンザの影響で卵の受注数に制限があり非常に厳しい状況が続いている。早く卵の供給量がもとの状態に戻ってほしい。	パン製造業	東京都
ウクライナ情勢を受け、木材の仕入が不安定となっており、在庫管理が難しい状況。	木材加工品の製造販売	神奈川県

資材が手に入らず、建築期間が長期化しており、代金回収期間が長期化している。	土地売買	山梨県
半導体不足により生産が減少しているが、7月以降は生産が回復するだろうとの見込みがある。	鉄鋼業	静岡県
鳥インフルエンザ流行を受けて、国内産鶏肉が品薄になっている。	食肉小売	愛知県
仕入部品の調達遅れにより売上が減少し、短期資金を調達した。	生産機器、省力化機械製造	滋賀県
世界的な部品の供給不足を受け、納期が遅れており、ひいては設備投資の需要が減少している。	機械設計、製作	兵庫県

(図表8) 仕入値および経費の上昇が経営を圧迫しているとするコメント

コメント	業種	都道府県
原材料値上げのなか、パート確保のための人件費も上昇している。	和洋菓子製造	北海道
物価上昇により売上減少。3年以内に廃業する予定。	提灯卸	茨城県
仕入物件（競売物件）が出てこない状況が続いており、物件があったとしても価格競争が激しく落札も難しい。	不動産仲介・管理	東京都
新型コロナの影響は徐々に落ち着いて売上は安定しているものの、原材料費高騰を受けて利益率は大幅に低下している。	土木工事	神奈川県
大型工事を受けて売上は上昇しているものの、原材料費高騰に歯止めがかからず、対応に追われている。	総合建築工事	静岡県
半導体不足による生産調整に加え、円安やウクライナ情勢を受けた原価の上昇により、売上利益ともに悪化している。	自動車部品製造	愛知県
光熱費高騰により経費負担が大きく増加した。魚価も流動的であり、先行きが見通しづらい。	鮮魚加工品卸	三重県
建材価格高騰を受け、建築費が15%ほど上昇した。良好な物件がなければ無理に仕入することは考えていない。	不動産売買	大阪府
元請けの生産計画が不安定なため、現状は厳しい。原材料高騰に加え、電気代が1.6倍になっている。	自動車部品、オフィス家具製造	岡山県

(3) 価格転嫁

仕入値および経費の上昇を受けて、販売価格への転嫁ができるかどうかは経営上の大きなテーマとなっている¹。図表9のように価格転嫁を実行し、成果が出ているとの声がある一方で、図表10のように価格転嫁が困難であったり、実行できないとの声も聞かれている。

(図表9) 価格転嫁ができているとするコメント

コメント	業種	都道府県
常連の顧客は、値上げをしても変わらず購入してくれるため、収益に変化はない。	和洋菓子製造販売	岩手県

¹ 中小企業における販売価格引上げの状況とその効果については、ニュース&トピックス「中小企業に今こそ求められる販売価格見直しへの取組み」(<https://www.scbri.jp/reports/newstpics/20230414-post-436.html>) を参照されたい。

原材料高騰分の価格転嫁も一段落し受注も安定してきている。	工作機械部品製造	東京都
採算の合わない製品については、価格交渉を根気強く行い、成果が出ている。	生産用機械器具製造	新潟県
ウクライナ情勢や円安を受けて仕入価格が上昇しているが、価格転嫁はできている。	食肉販売	新潟県
官公庁関連の受注は価格転嫁できており、収益に問題はない。従業員の高齢化と人手不足が課題である。	土木工事	長野県
自動車部品の値上げに伴い、販売価格も引き上げている。顧客も物価高を承知しており、理解は得られている。	自動車整備	静岡県
資材価格高騰に対し、7割程度の価格転嫁ができている。	総合工事	和歌山県
長年ブランド戦略を行っており、認知度も高いことから、6月より値上げを検討している。	清酒製造	広島県

(図表10) 価格転嫁が困難（不可能）であるとするコメント

コメント	業種	都道府県
仕入価格高騰が落ち着かず、価格転嫁の対応が難しい。	菓子卸	岩手県
景気回復の実感はない。仕入価格高騰に対し、価格転嫁が難しい。	衣服小売	福島県
外食大手に卸しているが、年間契約のため年度途中の価格転嫁は困難である。	青果物製造	茨城県
仕入価格高騰に対し、価格転嫁できないため、廃業を決定した。	燃料類、菓子販売	茨城県
家賃や手数料の引上げが困難であり、今後も厳しい状況が続く見込み。	不動産管理	埼玉県
物価高騰分の価格転嫁が進まず厳しい状況が続いているため、コスト削減に努めている。	建設業	東京都
毎日のように仕入価格が上昇している。一部商品については価格転嫁できているが、元々利幅の少ない商品を取り扱っているため業況は厳しい。	ドラッグストア	東京都
売上が増加したものの仕入価格が高騰しており利益を圧迫している。販売価格に転嫁することもできず悩んでいる。	作業服卸	東京都
仕入先からの値上げ要請が相次ぎ、販売価格に十分に転嫁できていない。販売先減少傾向にあり、新規開拓に努める。	紙、紙製品卸	岡山県

(4) 人手不足

人手過不足判断D. I. の動きと整合するように、人手不足によって事業に支障が出ている、とのコメントも多くみられる（図表11）。

一方で、人手不足を受けて、生産性向上を進めるほか、人材育成や待遇改善を進めることで人材の定着を図る、とのコメントもみられる（図表12）。このような取組みが広がることが期待される。

(図表11) 人手不足に関するコメント

コメント	業種	都道府県
インバウンドが回復しているものの、人手不足により稼働ができない。客室は7割、客数は6割が限界。	温泉ホテル	北海道
人員不足により、病床の稼働率を上げられないのが課題。	病院	北海道
地元銀行の合併に伴い看板製作の依頼がきている。人手不足が課題。	看板製作	青森県
人材の確保及び育成が現在の課題となっている。	マッサージ、 整体治療	東京都
社員や外注業者の平均年齢が高くなっていることから、5年、10年先を見据えて若年層の人材を確保したいが、なかなか担い手が見つからない。	設備工事	東京都
人員の不足が続いている。M&Aによる人手補充も検討。	自動車修理	新潟県
業界全体で除雪作業員が減少しており、5年後には社内の態勢にも影響が懸念される。	土木工事	新潟県
人手不足が最大の課題。利用する求人サイトを増やす予定。	土木	静岡県
コロナ禍からの回復を受けて受注依頼が増えているが、人手不足を受け依頼を断っていることもある。	自動車整備	静岡県
資源を回収するトラックドライバーが不足しており、業況に影響が出る可能性がある。	古紙、アルミ 缶、ペットボ トル卸	愛知県
半導体不足がやや緩和されているものの、人手不足により残業時間が大幅に増加している。	自動車部品製 造	愛知県
熟練杜氏の退職により代表者が製造に携わっており、営業が手薄になっている。	清酒製造	兵庫県
売上は伸びているものの、人手不足で残業時間が増えている。新しく雇用することは、人件費増を考慮すると難しい。	パン小売	愛媛県
業況は順調だが、人員不足が懸念材料。人員確保できればさらなる売上増が見込まれる。	青果加工卸	佐賀県

(図表12) 生産性向上、人材育成や待遇改善に関するコメント

コメント	業種	都道府県
若手社員が多いため、離職者が出ないように経営理念を徹底して指導するなど、人材教育に余念がない。	家電商品、リ フォーム小売	山形県
人材は不足気味で、残業時間が増加している。DX化を進めて効率化していきたい。	タイル、住設 機器卸	群馬県
雇用調整助成金を活用し、従業員の能力向上に努めている。	電気工事	神奈川県
人手不足が続いており、DXやロボティクスにより人手に頼らない事業を模索している。	鉄筋工事	愛知県
一時金交付に加え、4月からはベアも実施する。光熱費が今年の2.5倍になっており、価格転嫁を視野に入れている。	鋼板卸	愛知県
地域貢献活動や、父親育休制度の導入などの働きやすい環境整備に熱心である。	電気工事	滋賀県
診療にかかる器具の価格が上昇しており、利益を圧迫している。雇用確保のためベースアップを検討中。	医療関係	岡山県
人員不足の対策として、デジタル化を進めていきたい意向がある。	不動産仲介	宮崎県

(5) デジタル化

今回は、特別調査で「中小企業におけるデジタル化への対応」をテーマとしたことから、デジタル化に対する現状や今後の姿勢についてのコメントが多くみられた。

デジタル化に積極的な企業(図表13)もみられる一方で、費用対効果や経営資源の不足などから消極的な企業(図表14)もみられた。特に、企業の経営者や従業員の高齢化に加え、取引先の高齢化がデジタル化の足かせになっているとのコメントが多く聞かれた。

(図表13) デジタル化に積極的なコメント

コメント	業種	都道府県
ペーパーレス化が進んだことで減収減益。今後はデジタルコンテンツに切り替える方針。	印刷業	北海道
設計部門と製造部門のデータをデジタル化したことで、作業効率が上がった。	マンション特注家具製造	山形県
従業員高齢化が課題。外国人労働者で人員確保に努める。当金庫や商工会と連携し、デジタル化に積極的に取り組んでいる。	総合工事	岩手県
インターネットを通じた販売も多く、HPは随時リニューアルしている。	自動車販売	茨城県
D X説明会に参加、デジタル化推進に向け、クラウドの利用等を検討中。	産業廃棄物処理	埼玉県
インターネットバンキングの活用や、取引先とのメールのやりとりなど、可能な範囲でデジタル化の対応に着手しており業況も安定している。	板金加工	東京都
商会議所やロータリークラブを通じてインボイスやデジタル化への情報を得ている。	量電設備用製品製造	千葉県
HPが充実しており、新規獲得のペースも早く、増収増益傾向。	フィルター等製造	神奈川県
インボイス制度を機に社内のIT化を一層推進していく。	溶剤、塗料、塗装設備卸	静岡県
社内でデジタル化を進めているものの、取引先のシステム導入が遅れていることから、活用し切れていない。	道路橋梁、マンション工事	三重県
大手ゼネコンからの受注が多く、デジタル化への対応は必須となっている。	防水工事	大阪府

(図表14) デジタル化に消極的なコメント

コメント	業種	都道府県
デジタル化の必要性は感じながら、導入コストや社員教育などを考えると前向きになれない。補助金などの充実を求める。	ダクト、配管製造	北海道
代替わりするまでデジタル化は進めない。	鶏卵卸	北海道
デジタル化を導入することでかえってコスト増になると認識しており、導入予定はない。	水産物卸	北海道
市役所からもデジタル化のアンケートが来たが、高齢者には使いこなせない。小規模事業者にとっては環境が厳しくなっている。	燃料、その他雑貨小売	福島県
売上台帳も長年手書きで作成しており、取引先によって統一されていないため、デジタル化に踏み出せない。	木材製造	埼玉県

デジタル化になかなかついていけず、取引先の決済方法についていくのが大変である。	レッカー業	東京都
家族経営で顧客も高齢者が多いため、デジタル化への対応はほとんどしていない。	簡易宿泊所	神奈川県
業界内で古い慣習が残っており、デジタル化に後ろ向き。ドローン測量や位置情報システムの活用などは検討している。	土木工事	新潟県
親族経営であり若い人材がいないため、デジタル化についていけない。	飼料、肥料販売	長野県
現在は売上や在庫の管理を手書きで行っており、デジタル化を検討しているものの、経理担当者がPCに弱く、実施できていない。	OA機器、事務用品、雑貨小売	静岡県
インボイスについては税理士に任せている。デジタル化については、セキュリティの不安や従業員の高齢化を受け、当面は実施しない予定。	飲食業	三重県
経営者も顧客も高齢のため、デジタル化の予定はない。	飲食料品小売	滋賀県
ペーパーレス化やデジタル化に良いイメージを持っていない。	書籍小売	大阪府
代取がデジタル化を進める一方、従業員は高齢化もありアナログに慣れきっており、変更に難色を示している。	幼保教材卸	兵庫県
年商1億円未満の家内経営であり、デジタル化は必要と感じていない。	自動車小売	岡山県
デジタル化についての認識が薄く、コストもかかり、やり方もわからないことから、取組みができていない。	自動車整備	広島県
デジタル化について、知識不足や社員不足が問題点である。	不動産代理仲介	広島県
デジタル化は進んでいない。事業承継を機に、一気に変革することを検討中。	総合工事（鉄工）	愛媛県

（6）前向きな取組み

今回の調査では、前回に引き続いて、新事業展開や新商品・サービスの開発などの前向きなコメント、ECサイト等のネット販売、SNSなどの情報発信ツールによって需要の獲得を図るとのコメント（図表15）もみられた。中小企業による需要獲得のための新たな手段として注目されよう。

（図表15）新しい取組み

コメント	業種	都道府県
M&Aで営業エリアを拡大している。	石油、LPガス小売	北海道
ビルメンテナンスのノウハウを生かし、DXサービス事業を開始予定。	ビルメンテナンス	北海道
円安を受け、台湾への輸出を積極的に行っていく。	リンゴ卸	青森県
SDGs関連商品など、取扱商品の拡充を進めながら新市場を創出する。	包装、梱包資材卸	栃木県
自社HPやSNSなどを活用し、販路開拓に取り組み始めた。	総合工事	新潟県
循環型アルコール蒸留設備による、自社アルコールブランドの海外販売を強化している。	酵素製造	新潟県

不動産鑑定評価を用いた事業承継サポートの展開を開始している。	総合不動産業	愛知県
YouTube でチャンネルを開設し、取引先の紹介動画を作成することで、より地元根差した活動を行っている。	税理士	愛知県
SNSの発信などを受け、他のケーキやコンビニスイーツと差別化ができた。	ケーキ、和菓子、アイス小売	三重県
採算面を考慮し、大手ECサイトへの出品を見合わせた。自社ECサイトの充実により利益率の改善を図る。	段ボール小売	滋賀県
ECサイトやSNSを活用し、英国ニットの販売に注力している。	衣料品小売	兵庫県
中古車需要が高まっている。業界の先行きを不安視しており、レンタカー等新しい事業展開を検討している。	自動車販売、修理	福岡県

おわりに

本稿では、2023年3月に実施した全国中小企業景気動向調査における調査員のコメントをもとに、中小企業の動向についてまとめた。

コロナ禍からの回復といった明るい声が寄せられている一方で、前回から引き続いて、仕入価格の高騰や人手不足による事業の困難を訴える声が多く寄せられた。また、新事業展開や新商品・サービスの開発など、新たな取組みに着実に取り組んでいるとの声もあった。

本稿で採用しているコメントは、いずれも信用金庫職員が調査員となり、渉外活動を通じて収集したものである。それぞれの事業者の置かれている現下の状況について、数多くのコメントをお寄せいただいた。調査にご協力いただいた中小企業経営者と信用金庫職員の方々に対して心からお礼を申し上げたい。

以上

(品田 雄志)

<参考資料>

- ・信金中央金庫「第191回全国中小企業景気動向調査（2023年1－3月期）」

本レポートのうち、意見にわたる部分は、執筆者個人の見解です。また当研究所が信頼できると考える情報源から得た各種データなどに基づいてこのレポートは作成されておりますが、その情報の正確性および完全性について当研究所が保証するものではありません。